

第4回三部会 2学期の取組状況について

H28. 10. 19

聖徳小

学校教育目標 夢や目標をもち、よく考え学び合い、心豊かでたくましく生きる児童の育成

重点目標	担当	達成指標	重点的取組	取組指標
確かな学力の定着	「学力向上ガッチリ」チーム（中川・松下・薬師寺）	○「授業の内容がよくわかる」と肯定的に解答する児童の割合を95%にする。	○ 活用の育成をめざした「聖徳小スタイル」の授業実践	○ 全教職員が学期に1回「自力解決」と「ペア・一斉学習」を意識した提案授業と5回の互見授業を行う。
		○ 単元末テストで期待点未満の児童の割合を20%以下にする。	○ 補充学習の充実	○ 読解力問題を週末課題とし、「水曜日」のスキルタイムで解説をする取組を全学年で毎週行う。
		○ 全国規模の学力調査で全学年国語算数共に標準スコア52を達成する。	○ 家庭学習習慣の定着	【家庭】「聖徳小学びの一步」を基に、家庭学習(学年×10+10分)ができたかどうか点検する。 【学校】「自主学習のてびき」を作成して学年に応じた自主学習に取り組ませる。
自尊感情の醸成	「学校生活ハッピー」チーム（丸木・川合）	○「自分にはいいところがある」と肯定的に回答する児童の割合を100%にする。	○「ほこつち山花いっぱい活動」に取り組む	○ 各学級に「ほこつち山花いっぱい」コーナーを作り、互いのよさを見つけて認め合いをさせる。
		○「学校・学級が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を95%にする。	○「人権の花運動」に取り組む	○ 前期・後期で一人一鉢の花を育てさせ、お世話になった方々へ花を贈ることで感謝の気持ちを育てる。
		○ PTA懇談による児童理解	【家庭】毎学期、PTA懇談で我が子の頑張りや伸びを見つける。 【学校】「おおいの親の学びプログラム集」を活用して、子どもとの係わりを振り返る場を設定する。	
体力・健康づくり	「運動・健康モリモリ」チーム（坂本・後藤）	○「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	○ 学校全体で、年間サーキット運動に取り組む（一校一実践）	○ 季節に応じた運動に、学年目標・個人目標を設定して全学年で取り組む。（1学期水泳 2学期マラソン 3学期長なわ 等）
		○「早寝・早起きができている」と肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	○ 生活習慣の点検・指導	○ 生活見直しカードを活用した「生活見直し週間」を学期に1回実施し生活改善指導を行う。
		○「聖徳小学びの学びの一步」で早寝の励行	【家庭】毎日、自分で決めた就寝時刻を守るよう声をかける。	

2学期に向けた改善	第4回三部会	取組の進捗状況・今後部会や各学年で充実させていくこと等
<p>【達成指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続する <p>【重点的取組・取組指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画通りに提案授業(月1回)による授業改善の実施 ② 日常の授業における聖徳小スタイルの実践 ③ 読解力問題を週末課題にする事の習慣化 ④ 「自主学習の手引き」を作成し、学年に応じた自学をスタートする。 ⑤ 授業がよく分かっていない児童の把握と個別指導の時間確保 ⑥ 「学びの応援隊」の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① 授業改善計画に沿って月1回の提案授業を実施し、取組の有効性をみんなで検証することができている △ ② どの学年も聖徳小スタイルの授業を日常化しやすいように、「課題」「まとめ」「めあて」「ふり返り」のプレートをガッチリチームが準備する。また、どの子も授業の見直しをもって学び合いの授業に取り組み、「分かる授業」ができるよう教室用掲示物をつくる。 ○ ③ 読解力問題は継続的に週末課題でとりくみ、チャレンジタイムで補強することができている。 △ ④ 3年生以上は各学年で自主学習指導をしているが、系統的な「自主学習の手引き」作成には至っていない。内容の充実を高める工夫をしていくとともに、低学年も取り組めるよう準備をしていく。 △ ⑤ 期待点未満の児童は、各単元末テストで担任が把握している。個別指導はそれぞれの学年で定着しつつあるが、まだ持ち方の工夫が必要。 ○ ⑥ 「学びの応援隊」活用は充実している。2学期後半も学年チャレンジ祭り等のGTを要請していく。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 津久見市学力調査に向けた弱点補強対策を実施していく。 ○ 大分教育事務所管内地域目標協働達成会議(11/15)にPTA会長・副会長といっしょに参加。保護者に目標協働達成の意識を高めていく手がかりにする。 	
<p>【達成指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続する <p>【重点的取組・取組指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1人1人のめあてをしっかりと持たせ、達成した姿を子ども同士で互いに認めあえるような取組を進める。 ② 結果や出来映えだけでなく、苦手なことに向かって努力している姿などにも目を向けた花を咲かせ、みんなに紹介していく。 ③ 地域の方々にも協力してもらい、子どもが育てた花を置いてもらう。また、子どもへの声かけをお願いしていく。 「人権の花」を届けたときの様子などを児童会を通じて全校に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① 「ほこ土山花いっぱい活動」は継続的に取り組んでいる。友だちの良さを見つけるのがうまくなった。 △ ② 教師が発見して全体に広げて行く取組が必要である。体育、音楽、図工、マラソン大会の取組など、努力が見えやすい技能教科や行事などから。 他の学年の「ほこ土山」も見せて、認め合いの視点づくりに役立てる。 ③ 後期「人権の花」の取組計画を立てたので、全校で取り組んで行く。 地域の方々にも「人権の花」設置場所や児童への声かけを引き続き依頼していく。(CSの活用) (郵便局・駐在所・公民館 他) 	
<p>【達成指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童の割合 93% <p>【重点的取組・取組指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中休みに5分間走を設定し、個人目標を持たせて持久走に取り組む。(持久走カード配布) ② 第2回生活見直し週間の実施。 ③ 委員会の児童による子ども達からの「早寝・早起き」啓発活動の実施。 ④ PTA懇談会、学級通信などによる保護者への啓発活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <運動会> 10/1(土) ・ 児童会スローガンを決め、それを受けた各団のめあてや個人めあてを持たせることで、全校が一丸となって運動会を成功させることができた。子どもたちは、協力、フェアプレイ、粘り強さ、達成感などをたくさん経験して、運動の楽しさを実感することができた。 ① ・ 11月から持久走取組のめあてを持たせて意欲喚起していく。 ・ 「がんばりカード」を配布して、意欲の継続と達成感を持たせる。 ② ③ 児童主体の「生活見直し週間」の啓発 ・ 10/27(木)保健朝会で早寝早起きの励行。 ・ 見直し週間(10/27～11/2)は給食時間に保体委員会が校内放送で呼びかける。 ・ 見直し週間のふり返りで、効果的だった事例や児童の感想、保護者の言葉などを紹介していく。 ・ 学年ごとの就寝時刻と学習時間の目標達成率を出して取組の成果や課題を発表する。 ④ 「早寝早起き」が習慣化するように保護者への呼びかけをしていく。 	